溝上慎一の教育論（動画チャンネル） No435

（2026年12月20日[日]）

第8回桐蔭学園溝上研究室セミナーのご案内
「自己調整学習・学習方略／探究的な学びの問いづくり＋参加者発表セッション」

溝上　慎一　　Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

https://smizok.com/
E-mail　mizokami@toin.ac.jp

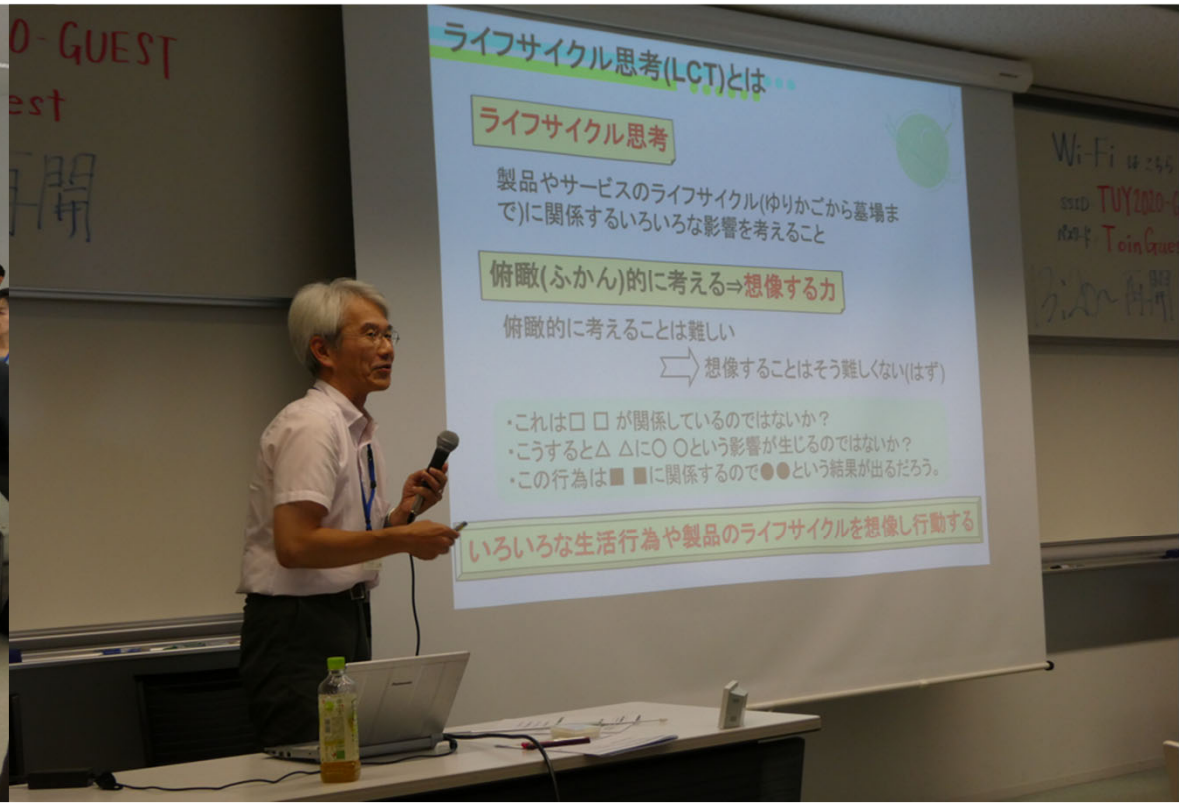
【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。
＊詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。
※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

（前回のご紹介）第７回溝上研究室セミナー

2026年9月27日[日]





（講演１）溝上慎一（学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授）
「課題の設定から始める総合的な探究－自己の在り方生き方を育てる理論と実践―」

（講演２）松本真哉（横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授）
「探究的学習における課題指導－モノのライフサイクルを通して－」





参加者発表セッション

①石河睦生（桐蔭横浜大学医用工学部）「言語化が得意な学生とそうでない学生。工学者が思う教育」
②高澤良輔（芝浦工業大学柏中学高等学校）「SSH指定校の実践から考える高校の探究、課題の設定」
③福田周作（桐蔭学園中等教育学校）「里山土壌観察・図表分析から概念理解へ～AI時代に身体性のある学びを学校で実現するには」
④河原颯吾（横浜市立新羽小学校）「協働的探究の体験を個の学びへ還す～知的好奇心を原動力に、自ら学びを切り拓く子どもの育成～」
⑤山本智也（高崎経済大学経済学部）「高崎経済大学発・教育問題をオールインワンで解決するアプリ開発」

次回のセミナーでは２つの発展に挑戦します





①参加者ポスター発表セッション

②実践研究者として出版への道

現在、2社に参加を内諾いただいています

いずれもイメージ写真



桐蔭学園中等教育学校[前期課程]
みらとび発表会（総合的な学習の時間）



桐蔭学園小学校公開研究会
総合探究ポスター発表（マイ探究）

小学校から高校・大学までポスター発表は児童・生徒にとって力（資質・能力）をつける大きな機会！
それを教える教職員はこの機会が日常的にありますか？

第８回桐蔭学園溝上研究室セミナーのご案内

＜目的＞

- これから学校・大学はどうなる？
- 現代社会を生きる子ども・生徒学生の資質・能力をどう育てる？
- 自分の授業や活動、考えていることを発表してコメントがほしい
- 全国の教育関係者と交流して自分を高めたい
- 次期学習指導要領改訂に向けた最新の情報が欲しい

などに関心のある方

＜対象＞

小学校～大学までの学校教育に関わる教職員、教育関係者が主な対象ですが、内容に関心のある方であれば、テーマに詳しくない方、若いキャリアの方、教育産業、企業等の方、どなたでもご参加いただけます。

溝上研究室セミナーでとても大切にしていること

- すぐに役立つ情報・知識だけではなく、体系的に、概念的にも学ぶこと
- 対話･思考をすること
- 学校種を超えて、様々な属性や背景をもつ他の教育関係者とネットワーキングすること、他の教育関係者の実践や考えから互いに学び合うこと






＜詳細＞

- 日時：2026年12月20日（日）9:30-16:30（予定）

  ※昼食はサンドイッチ、お茶菓子等をご用意します。

- 場所：桐蔭学園大学Ⅰ号館３Fの教室

  ※最寄り駅：東急田園都市線 青葉台駅からバスほか
  https://toin.ac.jp/info/access/campusmap/

  ※基本的には公共交通機関を利用してお越しいただきたいのですが、10台までは駐車場のご案内いたします（先着順）

- 参加費： 8,000円

- 定員：70名

  ※ポスター発表申し込みは30名まで（先着順）

＜プログラム＞

※すべてアクティブラーニング形式で行います

①9:30-12:00　オープニングセッション
＋参加者発表セッション



②12:00-13:00　昼食＆ネットワーキング

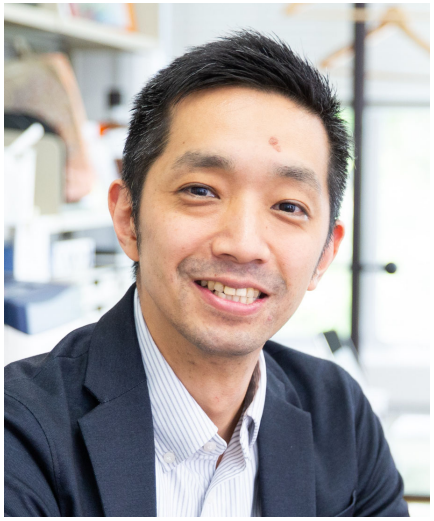
※すべてアクティブラーニング形式で行います

③13:00-16:30　講演セッション

（講演１）篠ヶ谷圭太（学習院大学文学部教授）
「次期学習指導要領で求められる学習方略の指導」

※武藤久慶氏（文部科学省教育課程課課長、次期改訂審議の事務局トップ）の外での講演やセミナーの中でよく紹介される篠ヶ谷圭太先生をお招きします。次期改訂の自己調整学習や学習方略の説明資料は、篠ヶ谷先生の本を参考にして作られたのではないかと思われるほどです。

当日は、年末に出版される新著からお話をいただきます。
＞篠ヶ谷圭太『図解でわかる 教師のための「学習方略」入門』明治図書（近刊）



東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士（教育学）。慶應義塾大学先導研究センターパネル調査共同研究拠点研究員・日本大学経済学部教授等を経て2024年4月より現職。

（講演２）塩瀬 隆之（京都大学総合博物館 教授）
「30日チャレンジ：問いが深まるまでの時間をいかにデザインするか」

※これまで私のセミナーやYouTubeで何度も紹介してきた、私が京大にいた時の同僚だった先生です。皆さんにいつか紹介したいと思い、この度やっと実現しました。

総合的な学習・探究での「問い」「課題の設定」だけでなく、各教科等における探究的な学び（要素）としての「問い」を持つことにまで広くお話しいただく予定です。



京都大学大学院工学研究科修了。博士（工学）。京都大学大学院情報学研究科助教を経て、2011年より経済産業省産業技術環境局課長補佐（技術戦略）。2013年京都大学総合博物館准教授に着任。2026年4月より現職。

（司会・モデレーター）

溝上がモデレーターを務め、講演や議論に関連する学術的な理論や文科省施策について解説をします。講師と参加者との橋渡しをするのが私の役割です。

参加申込：以下のフォームに記載の上、溝上までメールをください。
　　溝上慎一宛（mizokami@toin.ac.jp）

==========

- お名前（漢字とふりがな）（　　）
  ※（例）溝上慎一 みぞかみしんいち
- 所属機関・部署、問題なければポジション（　　）
  ※（例）学校法人桐蔭学園理事長、桐蔭横浜大学教授
- メールアドレス（　　）
- 参加費領収書：要・不要　←どちらかを消してください
  ※「要」の方は、宛名、但し書きをどのように記載してほしいかを書いてください。
- 支払い方法：銀行振り込み・当日受付で現金支払い　←どちらかを消してください
  ※申込み受付後に個別にご案内します。
- 参加者発表セッションに申し込む方のみ、仮でいいのでタイトル
  （申し込む場合は）「　　（仮）」

==========

皆様の参加申し込みをお待ち申し上げます

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

・お名前、ご所属
※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてくださると、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。
・質問、コメント等

